

島田市博物館年報・紀要



第 2 1 号 (令和 4 年度)

島 田 市 博 物 館

はじめに

島田市博物館は、静岡県中央を流れる大井川の左岸に位置し、隣接して江戸時代の東海道に沿った国指定史跡「島田宿大井川川越遺跡」があります。

江戸時代、大井川は幕府により渡船や架橋を禁じられ、川越人足による渡河という川越制度が生まれ、東海道の難所として馬子唄にもうたわれました。一方、川越制度は増水による「川留め」から宿場の繁栄をもたらし、宿場独自の文化の形成に繋がりました。

当博物館は、こうした独自の発展を遂げた街道文化に関わる資料を主に収集・展示し、当時の旅の姿と全国的にも珍しい交通制度を紹介するため、平成4（1992）年5月に開館し、令和4年5月に開館30周年を迎えました。島田市博物館は本館と分館から成ります。本館1階では「旅と旅人」をテーマに旅と宿場に関わる資料を常設展示しており、2階では特別展示して、主として島田市および大井川流域の歴史や伝統文化や芸術活動などを紹介する企画展等を開催する特別展示室から構成されています。

川越遺跡の東端に位置する分館では、明治後期に建てられた旧桜井家住宅（登録有形文化財）と静岡市出身の版画家「海野光弘」の作品を展示する海野光弘版画記念館や、今では見ることが難しくなった民俗資料を展示する民俗資料室が公開されています。

このたび、当博物館の概要と年間の展示及び学習活動、文化財の保存及び活用、市史編さん事業等について取りまとめ、年報第21号として発行しました。

この年報を通して、博物館活動について皆さま方のご理解をいただくとともにご支援とご協力を賜りたく存じます。

令和6年3月
島田市博物館

令和4年度 年報

目 次

令和4年度 年報

1	博物館事業 —令和4年度 島田市博物館 活動報告—	
1-1	管理運営	
(1)	組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2)	博物館協議会・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(3)	施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(4)	入館者数・・・・・・・・・・・・・・・・	4
1-2	事業活動	
(1)	収蔵資料・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(2)	展覧会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・	6
(3)	教育普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(4)	寄贈受領図書・・・・・・・・・・・・・・・・	18
2	文化財保護事業	
(1)	文化財の保存管理・・・・・・・・	21
(2)	文化財保護審議会・・・・・・・・	21
(3)	文化財調査・・・・・・・・	22
(4)	啓発活動・・・・・・・・	22
3	島田市史編さん事業	
(1)	島田市史編さん委員、調査協力員	24
(2)	古文書調査報告会の実施	24

令和4年度 紀要

【研究レポート】「川越人足は入れ墨を入れていたのか？ —シーボルトコレクションから見る大井川の川越人足の実像—」	
学芸員 岩崎アイルトン望	26